

チップトン、重圧バレル研磨機 研磨材を長寿命化

ツイート

シェア0

LINEで送る

(2019/7/8 05:00)



【名古屋】チップトン（名古屋市南区、小林史明社長、05 2・692・6666）は、一般の遠心バレル研磨機と比べて研磨材の摩耗と加工時間をそれぞれ最大7割減らせる重圧バレル研磨機「マイティ・マイルド」にタンク容量20リットルの「MMC20-4=写真」を加え10月に発売する。価格は2000万円（消費税抜き）から。軸受や自動車部品の研磨用などに年間20台の販売を目指す。

遠心バレル研磨機は加工対象物（ワーク）や研磨材、補助剤、水を入れたタンクが自転しながら公転する。回転比は1対1が一般的。

マイティ・マイルドは高公転速度で研磨力を高め、低自転速度でワークや研磨材への衝撃を減らし傷や摩耗を抑える。既存製品はタンク容量が5リットルで電子部材など小さなワークが対象だった。

MMC20-4は公転が毎分273回転で重力加速度30Gと研磨力が高い。自転は同0-120回転で加減できる。タンクの自動開閉、ワークの自動投入・取り出しの機能も追加可能。タンク容量などの特注にも対応する。

AD

FOOMA
JAPAN INTERNATIONAL FOOD MACHINERY & TECHNOLOGY EXHIBITION
2019国際食品工業展

7/9火 **12**金
東京ビッグサイト

クイックバス登録受付中!